

原発のそこが問題だ

第4号

2021年11月17日
原発反対の会・吹田
wasser861.a@pure.zaq.jp

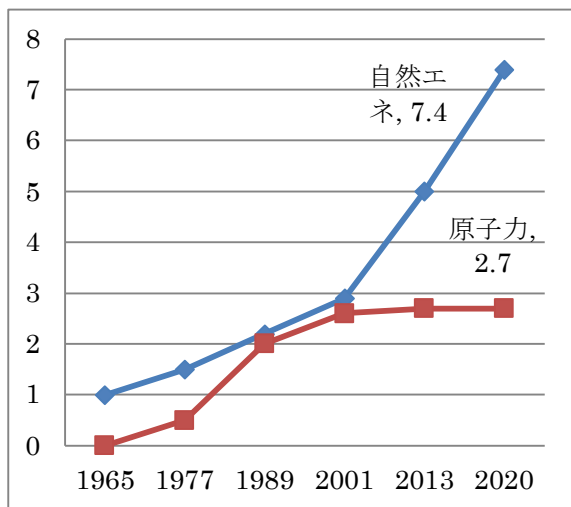
世界は原子力から自然エネルギーへ

発電電力量に占める原子力の割合は世界で1割に低下

原子力は1996年17.5% (2.4兆kw時) →2020年: 10.1% (2.7兆kw時)
自然エネルギーは2000年頃から急速に上昇→2020年: 27.8% (7.4兆kw時) (図1)
(2020年の他電源の割合: 石炭35.1%、LNG23.4%、石油2.8%)

図1 世界の発電電力量

単位: 兆kw時



資料) BP:Statistical Review of World Energy 2021

表1 主要国の発電電源構成

発電電力量の電源構成(%)	自然エネルギー	原子力	石炭	LN G	石油
ブラジル	85	2	3	9	1
デンマーク	82	0	10	4	1
カナダ	69	15	7	9	1
スウェーデン	69	30	0	0	0
ポルトガル	60	0	4	33	2
チリ	48	0	30	18	5
ドイツ	47	11	24	16	1
スペイン	45	22	2	26	4
イギリス	45	15	2	36	0
イタリア	43	0	7	46	3
日本	22	4	31	34	4

注) 日本をのぞいて自然エネルギーの割合が多い順に選択

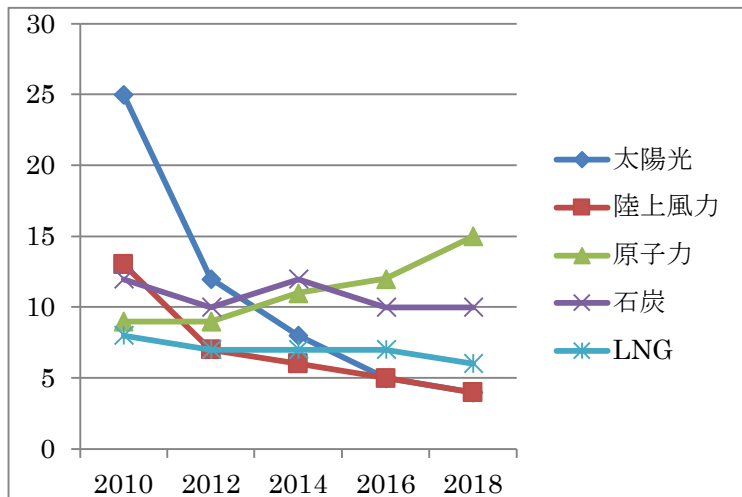
資料) IEA:Monthly Electricity Statistics 2020

原子力は最もコストが高い

2018年のコスト: 原子力15.1 石炭10.2 ガス5.8
太陽光4.3 風力4.2 (図2)

図2 電源別コスト

単位: 米セント/1kw時



資料) Lazard:Levelized Cost of Energy Analysis-Version 12.0

日本は老朽原発(稼働40年以上)まで再稼働して高コストで危険な原子力にしがみつこうとしている。

2030年の電源割合は原子力20~22%、自然エネルギー36~38%、石炭火力19%を見込んでいる。(「エネルギー基本計画改定案」2021年7月)

